

令和4年度事業計画書

自・令和 4年4月 1日
至・令和 5年3月31日

公益財団法人天野工業技術研究所

令和4年度事業計画

1. 試験研究事業

(1) 共同研究1

当研究所が過去に助成した研究テーマの中から、特に興味があり今後に期待できる研究テーマ（微粒子、粒子挙動、ウイルス除去、環境システム、発電素子、材料評価等）について共同研究として更に実用化に向けた研究を進める。

現在、20件の中から5件に絞り込んでおり、更にその中から1件に絞り込みを行っている。

<予算額：1,000万円>

(2) 共同研究2

当研究所を研究の拠点としてリソースを活かし、今後に期待できる研究テーマの共同研究を実施する。近隣に住宅があるため騒音、排水、匂い等が出ない研究テーマが望ましく、機械工学、電気電子工学、情報工学等があげられる。

現在は、地理的要因で近隣の大学との連携が現実的で早期開始に向けて調査中である。

<予算額：1,000万円>

2. 研究助成事業

(1) 研究助成金

全国の大学並びに高等専門学校等の高等教育機関に属する、新進の理工学研究者（概ね45歳以下）の研究に1件あたり150万円以内を20件助成する。

<予算額：3,000万円>

(2) 教育研究助成金

神奈川県、静岡県及び三重県の工業校長会に所属する学校等団体及び学科等グループを対象に、工業人育成のために有効な教育研究、教材研究及び教育活動実践研究に対し、学校等団体は1件あたり150万円以内を学科等グループは1件あたり80万円以内を助成する。

<予算額：1,000万円>

3. 奨学事業

(1) 工業高校生

神奈川県、静岡県及び三重県の工業系高等学校並びに東日本大震災の被災地である岩手県、宮城県及び福島県の工業系高等学校の主に最終学年に在籍する生徒の中から、各学校長から推薦された生徒に1人あたり月額2万円（年額24万

円)を給付する。募集人数は、神奈川県45名、静岡県42名、三重県20名、岩手県25名、宮城県34名、福島県24名の合計190名とする。

なお、熊本地震の被災地である熊本県での募集は令和3年度で終了することとした。また、東日本大震災の被災地である東北3県での募集は令和4年度を最後として終了することとした。

<予算額：4,560万円>

(2) 国立高等専門学校生

全国51校55キャンパスの国立高等専門学校の主に最終学年に在籍する学生の中から、(独)国立高等専門学校機構の推薦を受けた55名に、1人あたり月額2万円(年額24万円)を給付する。

<予算額：1,320万円>

(3) 大学院後期博士課程

東北大学、日本大学、慶應義塾大学、静岡大学、豊橋技術科学大学の理工学系大学院後期博士課程1年に在籍する学生或いは1年に進学を許可された学生の中から、各大学の大学院長或いは研究科長から推薦を受けた学生に1人あたり年額最高150万円を3年間給付する。募集人数は東北大学、日本大学、静岡大学、豊橋技術科学大学はそれぞれ4名、慶應義塾大学は6名(年額100万円)の合計22名とする。

<予算額：9,000万円>

以上